

(学年) 第1学年、(教科・科目) 公民科・公共

協働学習

(単元) 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち

ア(ア) 日本国憲法の基本的な性格

自由に生きる権利

(本時のねらい)

憲法は自由権の保障を詳細に定めている。しかしながら、罪を犯していないのに投獄され、自由を奪われた人もいる。現行の死刑制度について情報を適切かつ効果的に収集し、多面的・多角的に考察して表現し、自立した主体として活動するために必要な資質を養う。

(ICT活用方法)

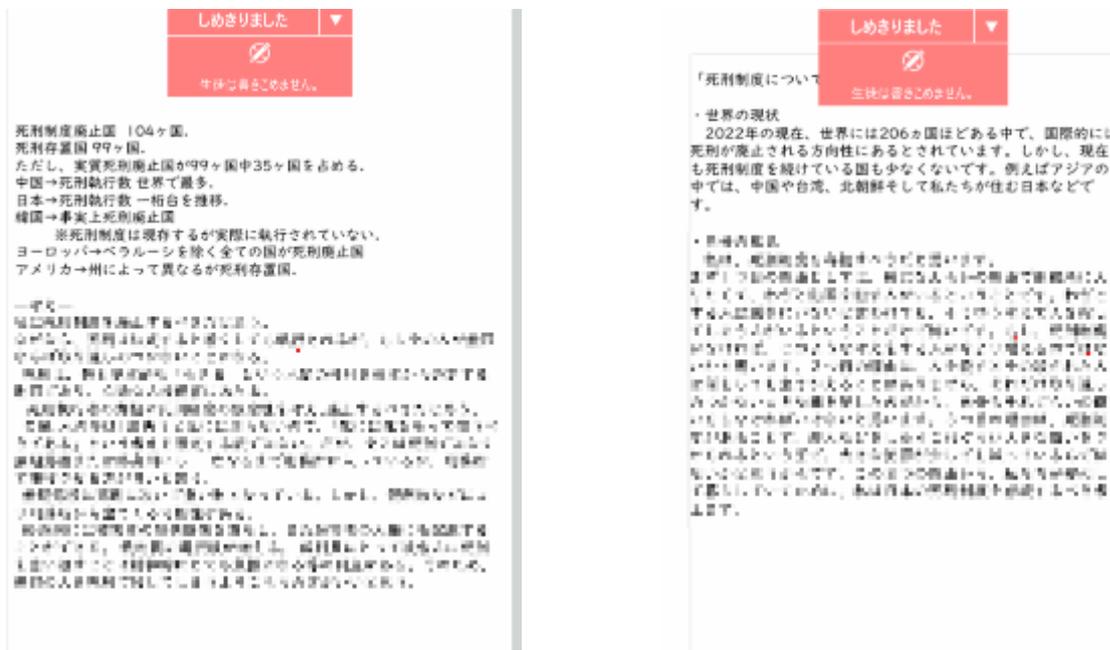
授業支援クラウドアプリで週末に配信した死刑制度に関する課題について、グループワークを行い授業支援クラウドアプリにまとめて電子黒板に投影して発表する。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>憲法の三大基本原理の一つ基本的人権について確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冤罪や残虐刑について簡潔に説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の学習内容を想起しやすくするため、前時に使用した基本的人権の一覧表を電子黒板に投影する。</li> </ul>
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自の意見をグループで共有し、死刑制度の是非について議論する。</li> <li>死刑制度に反対か賛成かの立場をグループとして表明する。</li> <li>各グループの発表を受けて作戦タイムをとる。</li> <li>反対尋問及び反駁を行う。</li> <li>判定結果を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の現状と日本の課題について、明確な根拠に基づき意見を述べるように助言する。</li> <li>反論に対する反駁を準備することを説明する。</li> <li>各グループの主張を傾聴させ、適切な言葉遣いで主張を補強させ。</li> <li>より良い議論を交わすことに重点を置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループの意見を授業支援クラウドアプリにまとめ電子黒板に投影し、代表者に発表させる。</li> <li>課題レポートの添付資料やインターネットで調べた内容を電子黒板に投影して表現力を高める。</li> </ul>

まとめ 5分	・本時のまとめを聞く。	・死刑制度の課題について確認させる。	
-----------	-------------	--------------------	--

(授業の様子)



(生徒の反応と課題、改善を要する点)

授業支援クラウドアプリで提出した課題レポートだけではなく、インターネットを使用しながら協働して反対尋問や反駁に向けて一生懸命準備している姿が見受けられた。レポートをプレゼンテーション形式にし、グループ単位で提出した方が説明しやすいと感じた。そのためには、グループ内の役割分担を明確にして特定の生徒に負担がかからないような工夫が必要だと考える。